

種目名	理科	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	東京書籍
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
1 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>各場面で働かせる見方・考え方を具体的に示している。「理科の見方・考え方」を自覚的に働かせながら問題解決の活動を行うことで、「深い学び」が実現し、問題解決の力が育成されるように編集されている。</li> <li>児童が自ら問題を見出す場面を重視し、主体的に学習に取り組むことができるように編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的な問題解決の活動を繰り返すことによって、深い学びが実現し、また児童の「理科の見方・考え方」が豊かで確かなものになり、育成する資質・能力が更に伸びるよう編集されている。</li> <li>「問題発見」から「結論」に至る問題解決の過程を明確にして児童が見通しをもって活動できるように編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な活動を通して、児童自らが主体的に問題解決しようとする態度が育成できるように配慮されている。試行錯誤しながら学ぶことで、粘り強く学習に取り組む態度を育てるように編集されている。</li> <li>自主及び自立の精神が育つよう、自ら問題を見つけたり、身の回りのことと関連させて考えたりできるように編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の活動を通して、自然の事物・現象から見いだした問題を主体的に追究し、自然の真理を探究する態度が養われるよう編集されている。</li> <li>児童が主体的に関われるように、直接体験を重視し、五感を働かせた観察や体感的な活動を積極的に取り入れるよう編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然との関わり方をテーマに、自然に親しみ、興味をもつことを促すようにしている。観察・実験の結果を整理し考察する過程を丁寧に扱い、より科学的に考え話し合う活動を充実させられるように編集されている。</li> <li>既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想できるように編集されている。</li> </ul>
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な教材を活用し、自分のアイデアを生かして「ものづくり」を行う場面を設け、創造性が高められるように配慮されている。</li> <li>学んだことを使って、持続可能な社会を構築するために自らができることを考える場面が設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりなどの活動を通じて、個性の伸長や社会に役立つ人材を育成することができるように配慮されている。</li> <li>問題解決・対話的な視点に基づいた構成であり、互いに磨き合って自分の考えを高めることができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いや発表、説明活動などの場面を重視し、仲間と協力して深い学びに向かうよう工夫されている。</li> <li>ものづくりをする際にその知識が生かされたものになっているか、またものづくりの後に説明活動することによって、深く理解できているか確認ができるように配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間生活と地球環境とのかわりについて考えることのできる内容を扱い、環境保全に寄与する態度を養えるようになっている。</li> <li>学習によって得られたことを活用し、身近な材料で行う製作活動を通して、学習の理解が深まるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの環境や防災・減災に関する資料を豊富に取り上げ、児童が自他の命を守ろうとする態度が身につくよう工夫されている。</li> <li>児童の知的好奇心を高めることができるよう、学習内容を生かしたものづくりを掲載し、学習が実感できるように配慮されている。</li> </ul>
3 内容 (1) 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自然の事物・現象に触れて自ら問題を見出す場面を設け、児童の疑問を基に主体的に問題解決に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な事象を取り入れた観察・実験を通して、自ら科学的に思考して判断しやすい学習内容が選択されて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の思いや願いを学習の始めに位置づけ、見方・考え方を働かせて身の回りの事物・事象を学習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活での経験から問題を見つけ、予想や計画を行い実験・観察できるような学習内容が選択されてい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって学習に取り組む、科学的に思考する態度が育成できる内容が選択されている。</li> </ul>

	<p>取り組むことができる内容が選択されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然愛護や生命尊重、環境保全に対する態度を大切に、身近な素材を取り上げ、児童の疑問を基に主体的に学習に取り組める内容が選択されている。</li> </ul>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象や既習事項をもとに、問題解決の過程を通して、自然と人間との関わりや生命尊重への理解や態度を養える内容が選択されている。</li> </ul>	<p>内容が選択されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象に積極的にかかわることによって、その性質や規則性について実感できる内容が選択されている。</li> </ul>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の美しさや不思議さから問題を見い出し、興味・関心をもって主体的に問題解決に取り組むことができる内容が選択されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然との触れ合いや観察・実験を通じて主体的に学習に取り組み、自然環境と人間とのかかわりを追求できる内容が選択されている。</li> </ul>
(2) 内容の 程度	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の過程が明確でわかりやすく、学年に応じた科学的な思考ができるように選択されている。</li> <li>児童が発達段階に合わせて、自然の事象に触れて自ら問題を見いだす場面を設け、児童の意欲が高められるように配慮されている。</li> <li>基礎的・基本的事項を系統的にまとめ、理科に対する興味を広げ、理解を深める内容が学年に応じてバランスよく配置されている。</li> </ul>	<p><u>大日本図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活での経験や児童が興味・関心をもつ事象を取り上げ、主体的に問題解決する中で、発達段階に応じた科学的思考ができるように配慮されている。</li> <li>自然の事物や現象の中に問題を見つけ、確かな知識・技能が身につくように配慮されている。</li> <li>学習に関連が深い内容や発展的に扱う内容が豊富に掲載され、知的好奇心を高め、興味・関心を広げることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予想や結果から考えたことを互いに比較・検討する活動を通して、見方や考え方を、より科学的な見方や考え方へと変容させていけるように配慮されている。</li> <li>自然の多様性や共通性、連続性を意識させるために、多くの資料を提示した中で学習が進められるように配慮されている。</li> <li>内容や分量が考慮されており、発展的な内容につなげた学習内容となるように配慮されている。</li> </ul>	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の日常体験から問題を見つけ、予想や仮設をもとに自分の考えを明確にして、観察・実験を進められるように配慮されている。</li> <li>身近な動植物を選び、観察・実験が対話的に進むように、また、イラスト等で理解しやすい内容となるように配慮されている。</li> <li>児童が自分で習得の度合いを確かめたり、資料として活用できるようにしたりと、学びを生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p><u>啓林館</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を見だし、解決していく過程で科学的な思考力・判断力・表現力が付くように配慮されている。</li> <li>身近な生き物や自然現象について取り上げ、児童が興味をもって取り組めるよう配慮されている。</li> <li>単元導入では、既習事項や日常経験を確認・共通理解した上で学習を進め、単元末には定着がはかれるよう配慮されている。</li> </ul>
(3) 内容の 構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の思考に沿って学習が展開できるように構成されており、見通しをもって問題を解決していくことができるように配慮されている。</li> <li>単元配列は、基礎となる単元を先行するとともに、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の過程を重視し、目的を明確にした観察・実験の場が設定されており、科学的見方や考え方が構築できるよう配慮されている。</li> <li>自然体験や科学体験ができるように、身近な自然や</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のねらいや観察の視点、実験の方法が明確であり、基礎的・基本的事項の定着や問題解決が進めやすいよう配慮されている。</li> <li>自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象に積極的にかかわるこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然現象や活動から問題を見い出し、現象と既存の知識と結びつけて、問題解決の過程が展開でき、系統的に学習できるように配慮されている。</li> <li>前の学習で得られた理解や技能を次の学習で活用で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験の結果から考察したり、話し合ったりする場が設定され、問題解決に向けた思考が円滑につながるよう配慮されている。</li> <li>単元の配列は季節に応じて適期に設定されている。単元間の関連づけにも配慮</li> </ul>

	<p>季節的な学習の適期などにも配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルコンテンツが豊富に用意されており、児童が学習を深め、理解がより確かなものとなるように配慮されている。</li> <li>単元配列や観察、実験の方法などを工夫し、ゆとりをもって学習が進められるような分量となっている。</li> <li>学習の補充や発展として、児童が無理なく取り組める分量である。</li> <li>学習したことを使って考え、説明する問題を取り上げ、理科の有用性が理解できるように工夫されている。</li> </ul>	<p>日常生活に関連した学習内容がバランスよく配列されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が学習した内容を確かめたり、より発展させたりできるように、単元中や単元末に効果的に配列されている。</li> <li>指導内容が厳選されており、観察・実験・考察に十分な時間を配当できる適切な分量である。</li> <li>児童の理解度に応じ、発展的な指導ができる適切な分量である。</li> <li>よく目にする事象や科学的・技術者の功績などが紹介されており、学習内容と産業や技術が結びつけられるように配慮されている。</li> </ul>	<p>とによって知的好奇心や探究心を高め、その性質や規則性について実感できるように配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が習熟を深めたり、科学に対する視点を広げたりできる内容が単元中や単元末に配列されている。</li> <li>教材や観察・実験などの活動がよく吟味・精選されており、ゆとりと充実のうちに効果的な学習ができる適切な分量である。</li> <li>発展・活用の内容が充実しており、児童の学習を深められる分量である。</li> <li>学習内容と関わる暮らしや仕事の紹介を通して、理科の有用性を実感できるように配慮されている。</li> </ul>	<p>きるように、単元の配列が適切に扱われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料や問いを設け児童が習得した知識・技能や問題解決の力を、他の事象や日常生活にあてはめて深い学びにつなげられるように配慮されている。</li> <li>単元構成が工夫されており、効果的に学習を進められる適切な分量である。</li> <li>補充や発展の学習内容が明確に位置づけられており、分量も適切である。</li> <li>専門家からのメッセージを掲載することで、実生活・実社会と学習内容との関連が意識できるように配慮されている。</li> </ul>	<p>されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マークで発展部分と本文部分を区別し、児童の興味・関心に応じて単元の学習を更に深めたり広げたりできるように、配列されている。</li> <li>年間の標準授業時数で十分に組みめるように、少し余裕をもった分量で構成されている。</li> <li>補充・発展的な学習が簡潔にまとめられており、効果的に学習を進められる適切な分量である。</li> <li>つなげようのコーナーで実社会・実生活と関連づけられるような内容となるように配慮されている。</li> </ul>
4表記・表現及び使用上の便宜等	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入時に効果的な写真を活用し、思考の展開が円滑に行われる工夫がされている。</li> <li>安全に対しての配慮が必要な場面では、マークや赤字で強調し、巻末には観察・実験の基礎技能に関する内容が詳細に記載されている。</li> <li>発展的な学習の方法や身の回りの事象を話題とする</li> </ul>	<p><u>大日本図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真は、学習意欲を喚起できるように、ダイナミックな自然の姿や、日常生活でよく目にする身近なものなどを掲載するよう配慮されている。</li> <li>安全に対して配慮が必要な場面には「注意」マークを記し、注意点を認識しながら安全に取り組めるように、注意する理由が具体的に記載されている。</li> </ul>	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や資料画は、実物を忠実に再現されており、視覚的に目立つように工夫されている。</li> <li>実験の前、実験をするとき、実験の後、と場面を分け、それぞれのポイントが示されている。事故が起きた場合、とっさに何をしなければいけないなども順序立てて記載されている。実験中に地震が起きた祭の対処も記載されてい</li> </ul>	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大判紙面のメリットを十分に生かし、実物大や見開き表示など、ダイナミックなイラストや写真が豊富に掲載されていて、児童の興味・関心を引き出す工夫がされている。</li> <li>安全に対しての配慮が必要な場面では、注意と危険の2つのマークで具体的に記されている。</li> <li>写真資料や専門家のメッ</li> </ul>	<p><u>啓林館</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然のすばらしさを伝える鮮明な写真や、精密に描かれた自然や科学のイラストを多数掲載し、児童の興味・関心を高め、主体的な活動を促すように工夫されている。</li> <li>観察・実験の手順が細かいステップに分けて示しており、安全面において、適切な配慮がされている。</li> <li>単元末に実社会や実生活</li> </ul>

	<p>読み物資料を豊富に取り入れ、親しみや興味をもって系統的に学習できるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な話題の読み物が取り入れられ、興味・関心をもって学習に取り組めるように配慮されている。</li> </ul>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学に対する興味が広がるように発展的な資料が取り入れられている。</li> </ul>	<p>ページを取り上げることで、児童が理科の有用性を意識できるように配慮されている。</p>	<p>へ広げる写真や新しい題材を取り扱い、学ぶ有用性を実感できるように配慮されている。</p>
5印刷・造本等	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン書体を採用し、本文のバランスがとれ、読みやすい。鮮明な印刷であり、特にカラー写真や生物の細密図などは、実物に忠実な再現となっている。</li> <li>本文用紙には、従来より約10%軽い用紙が使用されていて、児童の負担に配慮がなされている。</li> </ul>	<p><u>大日本図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーで印刷され、色彩は一段と鮮明になっている。また、色覚に障がいのある児童にも識別できるようにカラーユニバーサルデザインに対応した配色をしている。</li> <li>横幅の大きいAB版で、アジロ綴じになっており、児童にとって扱いやすい配慮がなされている。</li> </ul>	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの児童にも見やすくわかりやすいレイアウト・表記・色の扱いになっている。印刷は、文字・写真・図版ともに鮮明である。写真や資料画は、実物の忠実な再現に優れている。</li> <li>造本は、開くやすく、理科の年間を通した学習で教科書として十分に耐えうる堅牢なものとなっている。</li> </ul>	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷は、イラスト、写真が正確な色彩で再現され、児童が親しみやすく、意欲をもって学習できるように、配慮されている。カラーユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>表紙は鮮明な写真が多数掲載され、学習内容を捉えられるとともに、児童の興味・関心を高めることができる。A4変形判で表面は滑面、堅牢な製本である。</li> </ul>	<p><u>啓林館</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真やイラストは、色や質感の再現を重視するなど、鮮明な印刷となっている。メディアユニバーサルデザインの観点から、児童が支障なく学習できるように、配色、デザインなど配慮されている。</li> <li>見やすさと読みやすさを配慮したAB判サイズとなっている。用紙は軽さと白さや発色を改良したのとなっている。</li> </ul>